



「日中植林・植樹国際連帯事業」 2019年度中国大学生訪日団第2陣の来日について

「日中植林・植樹国際連帯事業」(*)の一環として、2019年度中国大学生訪日団第2陣149名が11月11日から11月18日まで来日することとなりました。本事業は、中国大学生を訪日招聘し、植樹活動、環境・防災に関するセミナー、関連施設の視察等を行い、参加者の環境・防災意識の啓発を図るほか、大学訪問・交流を通じて日本の大学生や市民との親睦を深めるとともに、日本の経済・科学技術・社会・歴史・文化等が体験できるような施設や地方都市の参観を通じて、日本についての多面的な理解と日中両国青年の友好促進を目的としています。

是非、貴紙/誌にてお取り上げ下さいますようお願いいたします。

*「日中植林・植樹国際連帯事業」とは

日本へ飛来し得る黄砂等の中国の環境問題への対処、青少年等の交流を通じた環境及び防災意識の啓発と対日理解の一層の促進、砂漠化防止等への貢献を図ることで、中国との関係改善の流れを強化し、国際社会の課題に対処することを通じて「戦略的互惠関係」の強化につなげていくことを目的とする。

2019年度は、重点分野として「3つの架け橋」(1) 地方間交流、(2) 青少年交流、(3) 文化・スポーツ交流) を対日理解促進のテーマとした約1,600人規模の交流(招聘)を実施する。

また、2018年10月の安倍総理訪中時に、日中両国政府は2019年を「日中青少年交流推進年」とし、今後5年間で3万人規模の青少年交流を実施することを発表。本訪日団はこの一環として、日中両国青年の友好を促進することが期待される。

記

1. 訪日団概要

[時期] 2019年11月11日(月)～11月18日(月) 7泊8日間 [人数] 149名

[実施団体] 公益財団法人 日中友好会館 [派遣団体] 中国日本友好協会

[訪問地] 東京・茨城・宮城・愛知・滋賀

[主な活動内容]

- ・植樹活動(宮城県東松島市大曲地区/名古屋芸術大学)
- ・環境に関するセミナー、環境・防災関連施設の視察・交流・参観
セミナー：テーマ：「SDGsと世界のソーシャルデザイン」
東京都水の科学館、つくば市リサイクルセンター、しながわ防災体験館、KIBOTCHA
- ・スポーツ・文化に関する交流・視察等
大学訪問・日本大学生との交流
(筑波大学、東北大学、東北福祉大学、日本大学芸術学部、名古屋芸術大学)
日中囲碁・連珠交流(於：日本棋院)、パラスポーツ運動会(プログラム提供：日本財団パラリンピックサポートセンター)
東京国立博物館、国立映画アーカイブ、歌舞伎座
- ・ホームステイ(宮城県登米市/滋賀県日野町)
- ・その他、日本に対する包括的理解促進につながるプログラム等

2. お問い合わせ

公益財団法人 日中友好会館 総合交流部 担当：近藤、大島

住所：〒112-0004 東京都文京区後楽1-5-3 TEL：03-5800-3749 FAX：03-5800-5472

※取材を希望される場合、事前に上記担当までご連絡ください。

なお、訪問先・プログラムの都合により、取材を制限させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

以上